

機関紙「フィトンチッド」第5号 2021年7月発行

コロナ対策

※3月28日フィトンチッドにて理事会を開催 ズーム会議アプリを使っての審議となりました。

※5月22日フィトンチッドにて総会を開催 密を避けて少人数となりましたが 欠席者にはズーム会議アプリを使って中継もしました。



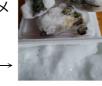
雪室の活用



※4月2日に雪を搬入

※5月 [生山菜]の万年雪詰め保存を開始

- ・コゴメ
- ・タラノメ ・シドケ



※7月 真夏日・猛暑日に取り出して食卓に!(予定)

🖄 第2発電所が満2歳!

※2020年7月から2021年6月までの発電量(全量売電)

☆売電料金から支払い

☆税金

90.000円

0円











思い出の昭和

※神室山中での製炭業

☆バイオマスエネルギーを産出 炭焼あんこ(製炭業者)の数は? 有屋地区の年間産出量は?

※かんまで食うミズ汁は旨がったナヤ

(炭焼き窯) (味噌汁)



☆子供たちの手伝い(半強制的労働)

主に、炭だづ(炭俵)用の「縄ない」でした 学校から帰っても近所で遊ぶのが先だったが、、 藁ぶづ(打ち) 石で二人が交代で行う藁打ち 藁の元とうら(穂先)では打ち方のリズムがあった 腰に下げた藁を歩きながら「なう」 引っ張り縄ないを夕暮れ時まで毎日、、、

※ワラクタナとワラクタズ(同じ物の名が会話に)

(食ったナ) (食ったズ)

🖄 小水力発電計画

※水量測定の実験でタイムラプス撮影中の画像が確認できました。



☆1月17日14時



☆1月17日17時

☆1月18日12時







☆入有屋堰の調査地

☆下向堰の調査地1

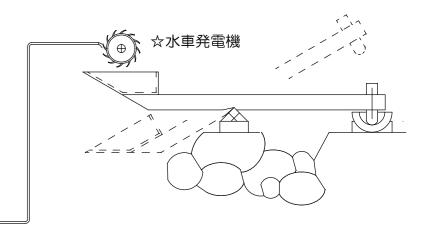
☆下向堰の調査地2

💆 ばったり壱號復元製作



※水量測定地→





② これからの ☆自然エネルギーの地産地消 伝説! ☆若い世代への伝承



事務局 [記 080-2303-3763 (担当 小沼・丹) HP: http://kaneyamadensetu.kirakirahatuden.com/

